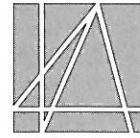


清流



No. 25

●発行 社会福祉法人 かなな会
 〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1
 TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855
 E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp

ケアホーム 「あじさい」 24・4開所



- 定員 6人
- 木造平屋建
- 敷地 446・68㎡
- 建物 173・90㎡
- 台所、食堂、畳室、風呂、洗面所、管理入室
- 個室6(各9・93㎡)

- 職員体制
- サービス管理責任者 1
- 世話人 3
- 生活支援員 3
- 夜間 世話人、生活支援員により巡回、見守り又はバックアップ施設かななの里にて対応

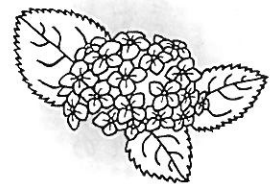
支援目標

家庭的な暖かい雰囲気の中で、利用する一人ひとりが、その人らしく自ら地域の一員として生きる喜びが感じられる日常生活をサポートします。

*国・県より補助金と法人の自己資金で建設
 藤岡市下栗須字堀ノ内九七四
 TEL・FAX 0274-50-9379



●24・4・13開所式



桜のつばみがやつと膨らんだ、平成24年4月1日、ケアホーム「あじさい」は開所しました。かななの里の職員駐車場北側に建設された建物は、平屋で天井が高く、太い木の梁が印象的です。利用者さんの安心、安全のために、スプリングクライや排煙窓が完備され、エコキュートで環境にもやさしいホームです。

クレストから二人、かななの里とかりんから一人ずつの計四人でスタートしました。平日は日中もくせいと、マロニエに通所しています。

地域で楽しく生活していけるよう、皆で協力していきたいと思えます。ホームの開所につきましては、関係者各位の方々に大変お世話になりました。今後ともよろしくお願いたします。

(世話人 角田秀子)

..... かなな会・かななの里 H23.10月～H24.3月までの主なできごと

10月	利用者グループ別旅行 第2回かなな会役員会 (あじさい、マロニエ工事の件) 避難訓練 音楽会
11月	東中より藤樹祭ご招待 インフルエンザ予防接種 あじさい、マロニエ2工事入札 定期健康診断 第3回救急法講習会 第3回かなな会役員会 (工事請負業者の決定、契約) 消防検査 本庄特別支援学校見学 (保護者30名) 職員研修旅行 (ながの障害者生活支援協会 東朋会ボランティア清掃 発達障害支援セミナー (県よりの委託事業12月も2回) 第4回かなな会役員会 あじさい、マロニエ2着工 クリスマス会 もちつき、冬期帰省 (12/28～1/4)
12月	出初式梯子乗り(若鷹会) 第12回地域支援セミナー (みかほみらい館・服巻智子氏 新年会 ゆっあいフェスティバル 研究発表会 (東日本大震災を通じて) 門外事 班別外出 あすなろ祭 うらしま太郎(かなハーション) 給食指導(藤岡保福) 避難訓練 あじさい、マロニエ2完成 保健管理委員会 年度末大掃除
1月	
2月	
3月	

追悼



24. 2. 12 ご逝去
享年 77才

故かなな会理事

田村清一先生へ

かななの里施設長

島野 信美

田村先生には、平成10年法人設立以来、理事として大変お世話になりました。

特に力強い芸術的な書は私たちの自慢の一つで、6月の藤華祭、8月の納涼祭1月の地域支援セミナーの看板他すべて書いて戴きました。1月のみかほみらい館の地域支援セミナーもいつものとおり快く引き受けて下さり、「またいつでも」と電話を貰ったばかりでした。

毎日おやつの前に歌う「かななの里」の歌も、11年4月開設した10月には早くも作って頂きました。また、「真心こそ宝なり」の書はかなな会の座右の銘となり、節目ごとに藍染め



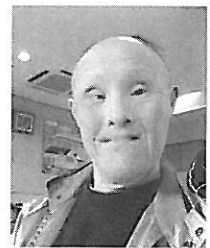
のハンカチにし、記念品として使わせて貰っています。沢山の書が書かれたご自慢の竹垣と竹門のある茶室兼書齋「唯清庵」、俳句をたしなまれる優しい奥様がいつも傍に居て、訪れる度に励ましの温かいお言葉を掛けて頂きました。

故郷の山と川を愛し、大勢の人に心豊かに生活することの大切さを教えて下さいました。ご恩も十分返すことが出来ない、余りの突然のご逝去で、悲しみは計り知れませんが、かなな会に注いでいただいた愛情を忘れることなく、職員一同これからもかなな会を大切にしていきたいと思います。沢山の感謝の気持ちを添えて。

合掌



(かななの里 玄関前の書)



24. 3. 18 ご逝去
享年 62才

原進さん、さようなら

担当支援員 笠原 史裕

3月16日の夕方、いつものように食堂で夕食を待つ原さん。いつもと同じように手を上げ、笑顔で挨拶を交わす原さん。夕食後、突然の急変で、3日後に還らぬ人となってしまいました。誰もが今も信じられないできごとです。

かななの里開所当時のメンバーで、外出することがとにかく大好き。4年前までは毎年泊まりの旅行に参加し、帰ってくると、職員皆に、「ありがとう」と握手をしてまわっていました。

誰からも好かれる存在で頑固な一面もありながら、どこか憎めない存在。いつも笑っている方で、口癖は「ばーか」「友達」「旅行」。プロレスとすもうが大好きで、昔からテレビをよく見ていて、男子職員を「小錦」とかあだ名で呼んだりしていました。

かななの里での13年間は楽しかったですか？職員はあなたのいつもの笑い声が聞こえてこないことが、どことなく寂しいです。

かななの里

保健管理委員会報告

(3.30実施)

飯田浩嘯託医師

今年には藤岡市にもかななの里にも感染症が流行らなかった。一部の利用者を見ていると、暦年令より老化が進んでいる感想を持った。

松田美智子嘯託医師

来的に胃ろうになる時期を遅らせたい。窒息を防ぎたい。現在ある摂食機能を落とさないようにしていくきめ細かい対応が必要。施設には吸引器の設備が必要。使いこなすにはトレーニングも必要になっている。

石田より子医務担当保健師

かななの里で、自閉症への取り組みが成果を上げています。支援する中での気づき、チームでの共有などが日常的に行われていることが、職員の話から聞いていくとよく解る。利用者さんの特徴を見出し、理解し、どのような構造と対応が適切かを様々に工夫し、チームワークよく実行し、フィードバックして見直すという日常のかかわり方が、困難な課題に成果をもたらしている。

口腔ケアと嚥下訓練の成果により発作が起きても小さな影響で終わることが多く、長期間の肺炎の治療を要することは、まれにしかありませんでした。

石川準二協力歯科医師

委員会を取り上げたことを、支援員が、即現場で取り入れ実践、また話し合い、実践している。自閉症の特性をよく知っている職員が実践的な方法を提案していくことが今後益々求められていくと思う。

将 年令不詳の人が多い。

藤岡市福祉支援センター

もくせい

生活介護事業

生活介護事業の生活班は現在8名、作業班は12名の利用者さんが通所されています。3月より生活班に新しい利用者が1名加わり、より賑やかになっています。昨年の秋の旅行では、東京のサンシャイン水族館へ行き、海の生物やアシカショーなどを見て、皆さん楽しめました。保護者の皆さんも一緒に参加する事で、親睦が図られました。

他に、定期的に社会見学を兼ねた外出を行っております。皆さん楽しそうに参加されております。

日々の日課は、それぞれの利用者さんの出来る事を工夫して提供し、前向きに取り組んでもらっています。

(生活支援員 谷 浩行)



就労移行支援事業所

就労継続支援B型事業所

就労移行支援事業所6名、就労継続支援B型事業所16名の利用者が12社からの受託作業を行っています。就労移行支援事業所では職場実習やトライアル雇用を経験して1名が一般就労に結びつきました。また障害者合同面接会へ参加、群馬アピリンピックのビルクリーニング部門に2名出場など実践的な活動に取り組んでいます。就労継続B型事業所では除草請負作業や企業に出向き授産作業を行う等、工賃アップに向けての活動を行っています。

(職業指導員 笠原良子)



もくせい 22.10月~24.3月までの主なできごと

10月
利用者インフルエンザ予防接種(20日)
合同就職面接会(21日)
ピエント高崎、就労移行支援事業利用者

11月
利用者健康診断(4日)
群馬県立聾学校生徒実習(7~11日)
藤岡市内民間企業職場実習(11/7)、就労移行支援事業利用者

12月
新町デイサービス事業所職場実習(11/22、12/2)
就労移行支援事業利用者
藤岡介護力レツジ実習来所(16日)
保護者会・納会(28日)
冬季休暇(12/29~1/4)

1月
かなな地域支援セミナー(7日、みかほみらい館)
市障害者団体新年会(22日)
合同就職面接会(2日)
ピエント高崎 就労移行支援事業利用者

2月
節分豆まき(3日)
群馬アピリンピック2011参加2名(5日、群馬職業訓練センター)
藤岡消防署立ち入り検査(16日)

3月
利用者個別面談、施設利用契約(27日)
安中市地域活動支援センター見学来所(6日)
防災訓練(27日)

マロニエ

マロニエでは作業室が2つあり、マロニエ1・マロニエ2に分かれ作業や作品作り、余暇活動を行っています。昨年よりマロニエ2の作業室を新たに建てはじめ無事、3月に新しい作業室・食堂の入ったマロニエ2が完成しました。とてもきれいで広く、シャワー室も完備。新築の匂いも心地よく気持ちが良いものです。

しかし、マロニエ利用者さんの中には環境の変化に弱い方も多く、新しい場所での活動が心配されます。職員一同、昨年より新しい作業室の配置、作業室を移動した日の職員の動き、提示の確認、利用者さんへの対応などシミュレーションし、どうしたらスムーズに移り混乱もなく活動できるかを考えてきました。



マロニエ1,2

マロニエ 22.10月~24.3月までの主なできごと

マロニエ2を受け入れて頼もしく思えました。3月より新たに高校を卒業したばかりの利用者さん2名、4月にも1名新たにマロニエに加わり総勢24名のメンバーで現在、賑やかに活動しています。

(サービス管理者 松井保隆)

10月 救急法講習会
みやま高等養護学校実習(31日、11/4)

11月 おたのしみ外出
定期健康診断(4日)
東朋会清掃ボランティア(16日)

12月 避難訓練(防災ビデオ鑑賞)(13日)
クリスマス会(22日)
餅つき(28日)
冬休み(29日~1/4)
第12回地域支援セミナー
新年会(13日)
ゆうあいフェスティバル(16日)

1月 高崎高等養護学校実習(16日~20日)
節分・豆まき(3日)
あすなろ祭(2日~3日)
保護者会役員会(28日)
新マロニエ2作業室完成



カレーパーティー



相談支援事業

かな

藤岡地区 君野 文子
上野・神流地区 茂木佳世子

かなの里相談支援事業所は、藤岡市・神流町・上野村からそれぞれ委託を受け、地域の障害をお持ちの方やその家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報提供や福祉サービスの利用支援を行っています。

平成24年度からは、障害者自立支援法の改正により、今まで対象が限定されていたサービス等利用計画作成を、障害福祉サービスを利用する全ての方々に作成することになる等、相談支援の充実が求められています。障害を持つ方が、それぞれに望む自立した生活に必要なサービスの種類、量の根拠となるものが、サービス等利用計画です。

ご本人やご家族の意向を良くお聴きすることはもちろん、ご本人が持てる力、強みを活かす視点を大切に、安心して地域生活を送れるよう関係機関と連携して、支援していききたいと思いません。

障害者就業・生活支援センター

「フーズ」

所長 田沼 俊之

障害を持った方々の就職とそれに伴う生活の支援を行うセンターです。就業を厚生労働省から、生活を群馬県から各々受託して、障害種別を問わずに、多野藤岡・甘楽富岡に住んでいる方を中心に、4名の職員で支援しています。また、障害者雇用に関わる企業への支援も並行して行っており、障害者と企業とのコーディネート役として日々活動しています。

登録している障害者は、23年度末時点で265名(身体42名、知的97名、精神119名、その他7名)で三障害以外でも、発達障害(知的障害を伴わない自閉症等)や高次機能障害、難病といった、現状では地域での支援が不十分と思われる方からの相談も増えてきています。

景気が回復せず、企業側にも、「人を雇用して育てていく」といった余裕がない」という事業主の声をよく耳にします。そんな状況です

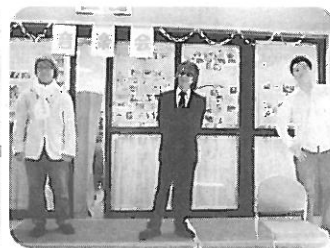
が、労働・保健・教育・福祉等の関係機関との連携を強化して、障害者雇用促進のために引き続き努力していきます。皆さんご協力よろしくお願います。



職員旅行
(ながの障害者生活支援協会)
(11, 12月)



東朋会
清掃ボランティア(11月)



音楽会
韓流3大スター(10月)



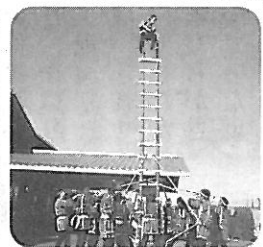
小野支部社協ボランティア
(3月)



新年会 扇洋会
(1月)



地域支援セミナー
服巻 智子氏
(1月)



はしご乗り 若鷲会
(1月)



小野中より
テレビ2台 (2月)



東中より
日本昔話DVDを (10月)

会
か子、藤岡市社会福祉協議
校、小野支部社協、古矢中
ティア、藤岡市立小野中
田所和子、藤岡支部ボラ
清、藤岡市立東中学校、東
田貞子、川端カツ、田沼
本木美智子、金澤由光、室
金井 湊、玉村町社協、六

沢山の善意
ありがとうメッセージ
(平成23.4.15-24.3.31)
(順不同・敬称略)